



2018年8月24日

こそだて家族研究所

いまどきママの新常識調査

いまどきママは「監督」より「サポーター」

～子どもを主役に、ママだけでなく、パパや周囲の人達とともに子どもの成長をサポートする子育てに～

博報堂こそだて家族研究所では、現代の子育てママの意識や実態を探るべく、20代から40代の小学生までのお子さんがあるママに調査を行いました。技術革新やグローバル化などを背景に、時代の転換に合わせた戦後最大規模の教育改革が2020年から始まりますが、現代のママたちはどのような子育て観を持っているのでしょうか。調査結果からは、ママが主となり全てを監督する子育てスタイルより、子どもの意思を尊重しながら、ママだけでなく、夫や周りの大人と一緒に子どもの成長を応援する「サポーター的子育て」を志向する実態がみえてきました。

<要点まとめ>

■子育てにロールモデルがない時代

- ・「子供が生きる未来は、自分が生きてきた時代とは全く違うものになると思う」に9割以上が同意。
- ・「将来子供になって欲しい職業がある」には、7割弱が同意せず。

■子どもの意思に任せて色々トライ

- ・子供の習い事は、「何かに絞って取り組ませる」より、「色々経験させてみる」ママがどの子供年齢でも6割以上と多数派。
- ・子供が嫌がる習い事は「続けさせる方が良い」より「続けさせない方が良い」が6割以上と多数派だが、子供が大きいほど「続けさせる方が良い」派が増える。
- ・利用経験のある子供の習い事は、「運動教室」が3割強と最も多く、次いで「学習教室」17%、「英会話・英語教室」16.1%。

■ハードルは低めに設定し、褒めて伸ばす

- ・子供の成長には、「大きな挑戦の経験」より「小さな挑戦の積み重ね」を大事にするママが、どの子供年齢でも約9割。
- ・「子供に対して、できなかった部分が大きくても、小さなできた部分を褒めたい」ママは、どの子供年齢でも8割以上。
- ・子供が小さいほど、「小さな挑戦の積み重ね」「小さなできた部分を褒めたい」意識は高い。

■子どもの個性を尊重する「個育て」

- ・「子供の意見をできるだけ尊重したい/している」ママが、どの子供年齢でも多数派で、特に就学前幼児で9割弱と多い。
- ・「子供のタイプによって、子育て方針を変えた方がよいと思う」ママの方が、どの子供年齢でも約9割と圧倒的に多い。
- ・「特技になりそうな習い事」をさせたい気持ちは、小学生で7割以上と高く、特に低学年の子供のいるママで高い。

■パパや周りの大人と一緒に子どもをサポートしたい

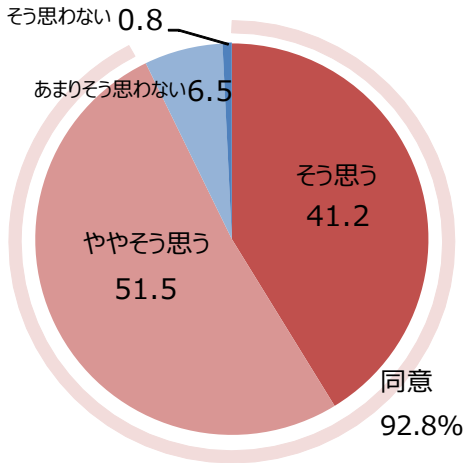
- ・「子育てには、できるだけたくさんの大人に関わってもらった方がよいと思う」ママが9割弱。
- ・「日々の子供の成長や行動をこまめに夫や身近な人と共有したいと思う」ママも9割弱。
- ・「子供・家族の写真・動画」「子供・家族の近況やニュース」「子供のスケジュール」「子供の園・学校での日常に関する情報など」、子供に関する情報や思い出を、配偶者を中心に、両親やママ友、園や学校の先生などと幅広く共有。

<調査結果>

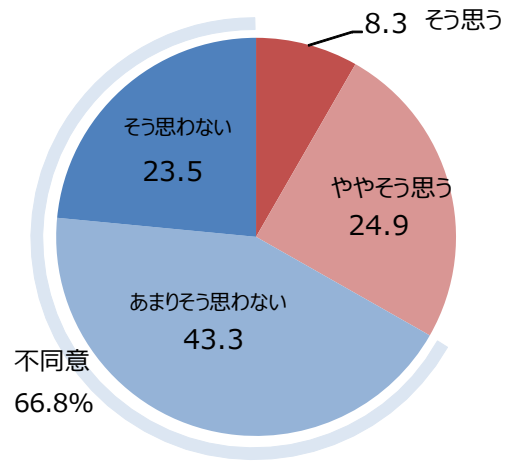
子育てにロールモデルがない時代

- ・「子供が生きる未来は、自分が生きてきた時代とは全く違うものになると思う」に 9 割以上が同意。
 - ・「将来子供になって欲しい職業がある」には、7 割弱が同意せず。
- Q.以下にある事柄について、あなたのお考えに近いものをそれぞれひとつずつお選びください。

子供が生きる未来は、自分が生きてきた時代とは全く違うものになると思う



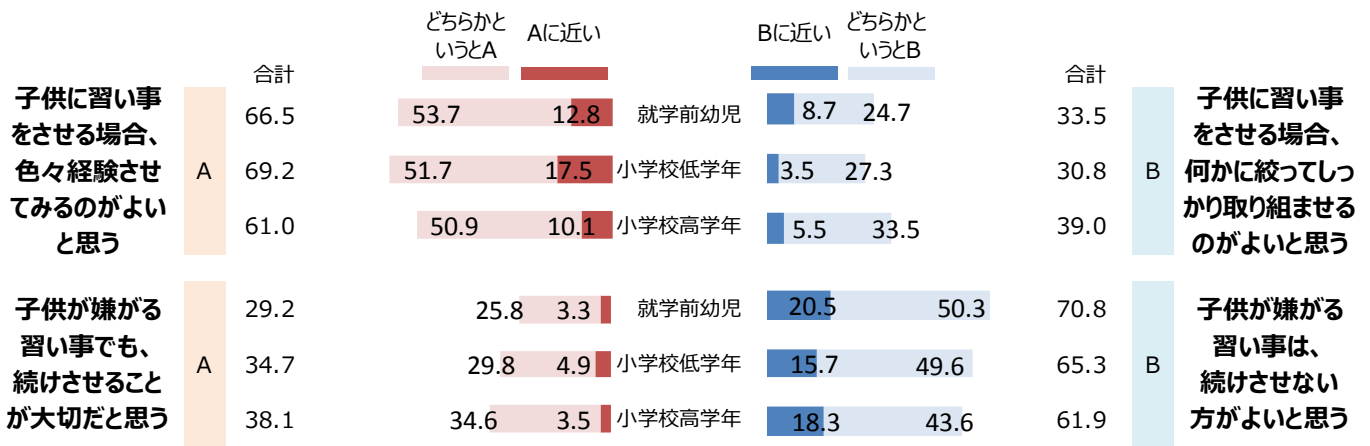
将来子供になって欲しい職業がある



子どもの意思に任せて色々トライ

- ・子供の習い事は、「絞ってしっかり取り組ませる」より、「色々経験させてみる」ママがどの子供年齢でも 6 割以上と多数派。
- ・子供が嫌がる習い事は「続けさせる方がよい」より「続けさせない方がよい」が 6 割以上と多数派だが、子供が大きいほど「続けさせる」派が多くなる。
- ・利用経験のある子供の習い事は、「運動教室」が 3 割強と最も多く、次いで「学習教室」17.0%、「英会話・英語教室」16.1%。

Q.以下の事柄について、あなたのお考えに近いのは A と B どちらですか。あなたのお考えに近いものをそれぞれひとつずつお選びください。



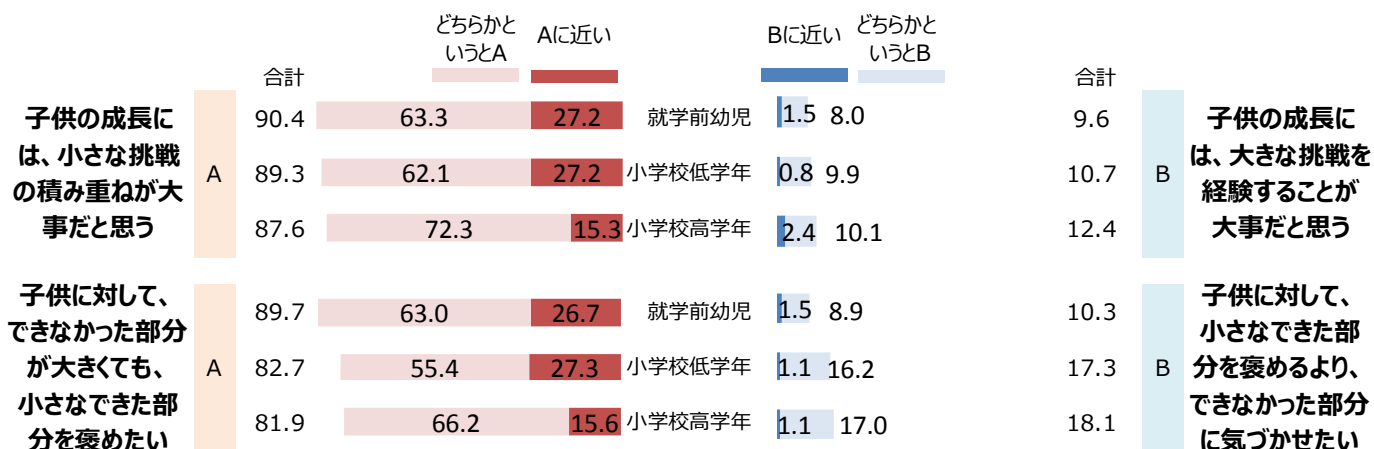
Q. あなたがこれまでに利用したり、やらせたりしたことがあるものを、以下の中からすべてお選び下さい。



ハードルは低めに設定し、褒めて伸ばす

- ・子供の成長には、「大きな挑戦の経験」より「小さな挑戦の積み重ね」を大事にするママが、どの子供年齢でも約 9 割。
- ・「子供に対して、できなかった部分が大きくても、小さなできた部分を褒めたい」ママは、どの子供年齢でも 8 割以上。
- ・子供が小さいほど、「小さな挑戦の積み重ね」「小さなできた部分を褒めたい」意識は高い。

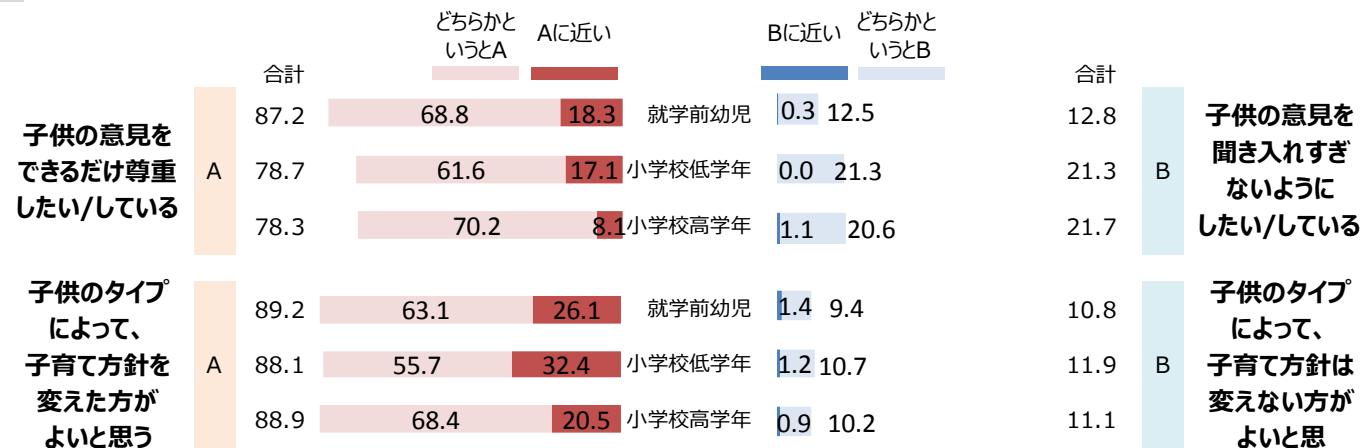
Q.以下の事柄について、あなたのお考えに近いのは A と B どちらですか。あなたのお考えに近いものをそれぞれひとつずつお選びください。



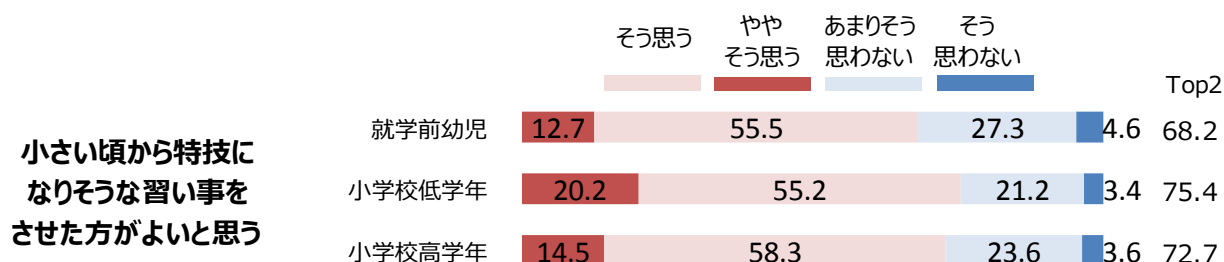
子どもの個性を尊重する「個育て」

- ・「子供の意見をできるだけ尊重したい/している」ママが、どの子供年齢でも多数派で、特に就学前幼児で 9 割弱と多い。
- ・「子供のタイプによって、子育て方針を変えた方がよいと思う」ママの方が、どの子供年齢でも約 9 割と圧倒的に多い。
- ・「特技になりそうな習い事」をさせたい気持ちは、小学生で 7 割以上と高く、特に低学年の子供のいるママで高い。

Q.以下の事柄について、あなたのお考えに近いのは A と B どちらですか。あなたのお考えに近いものをそれぞれひとつずつお選びください。



Q.以下にある事柄について、あなたのお考えに近いものをそれぞれひとつずつお選びください。

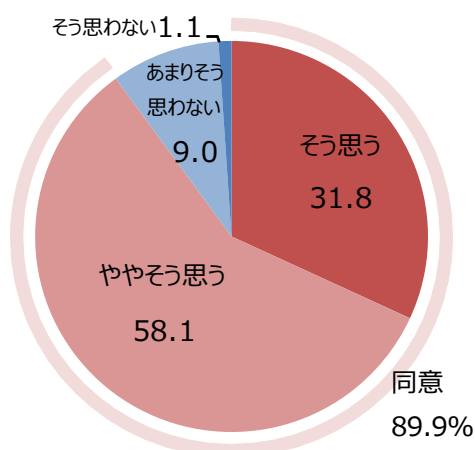


パパや周りの大人と一緒に子どもをサポートしたい

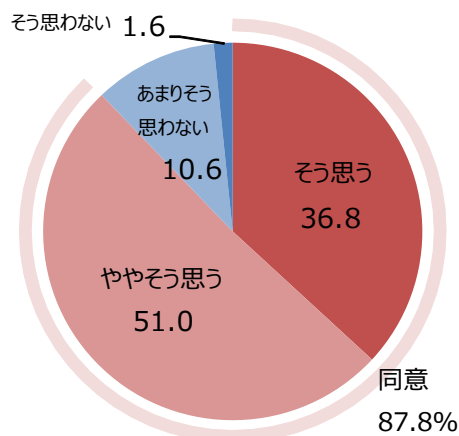
- ・「子育てには、できるだけたくさんのお大人に関わってもらった方がよいと思う」ママが9割弱。
- ・「日々の子供の成長や行動をこまめに夫や身近な人と共有したいと思う」ママも9割弱。
- ・「子供・家族の写真・動画」「子供・家族の近況やニュース」「子供のスケジュール」「子供の園・学校での日常に関する情報など」、子供に関する情報や思い出を、配偶者を中心に、両親やママ友、園や学校の先生などと幅広く共有。

Q. 以下にある事柄について、あなたのお考えに近いものをそれぞれひとつずつお選びください。

子育てには、できるだけたくさんのお大人に関わってもらった方がよいと思う



日々の子供の成長や行動を、こまめに夫や身近な人と共有したいと思う



Q. あなたのご家庭では、家族に関する以下のようなことがらを、どなたが共有していますか。(ママ本人・子供を除いた共有者 TOP 5)

子供・家族の写真・動画

1. 配偶者	60.6%
2. 自分の母親	18.9%
3. 自分の父親	12.8%
4. 義理の母親	11.0%
5. 義理の父親	8.5%

子供・家族の近況やニュース

1. 配偶者	63.6%
2. 自分の母親	29.7%
3. 自分の父親	17.9%
4. 義理の母親	15.8%
5. 兄弟姉妹・義理の兄弟姉妹	10.2%

子供のスケジュール(園・学校、習い事・塾など)

1. 配偶者	50.5%
2. 自分の母親	10.1%
3. 園や学校の先生	4.9%
4. 義理の母親	4.8%
5. 自分の父親	4.0%

子供の園・学校での日常に関する情報など

1. 配偶者	40.1%
2. ママ友	10.3%
3. 園や学校の先生	7.7%
4. 自分の母親	7.2%
5. 義理の母親	2.5%

<調査概要>

調査地域：全国／調査時期：2018年3月末／調査対象：20代～40代で0-12歳の子供がいるママ N=1,237名

※今回の結果発表では、長子3歳以上のママのみで分析 N=1,004名 (就学前幼児(3-6歳)393名/小学校低学年(7-9歳)318名/小学校高学年 293名) ※ママ年代・長子年齢の人口構成比でウェイトバック集計

調査手法：インターネット調査／調査設計・分析：博報堂こそだて家族研究所／調査実施：株式会社マクロミル

【博報堂こそだて家族研究所】 <http://www.hakuhodo.co.jp/archives/announcement/24207>

晩産化・少子化、共働き世帯の増加、夫や祖父母の育児参加など、この数年で大きく変わってきた「子どものいる家族」について、研究・提案を行う専門組織。1996年より活動していたB a B Uプロジェクトを発展改組し、2012年10月設立。「マタニティから小学生まで」の子どもがいる家族に関する専門ナレッジを元に、コンサルティング&プランニングをサポートします。